

令和7年度

保谷小学校4年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：「**ふだんのくらしをしあわせに**」
(活動名)

ねらい：「ふだんのくらしをしあわせに」を合い言葉に、障がいのある人や高齢者と関わる活動を通して、現状で困っていることや周りの人々にしてほしいことなど、その思いや願いに気付いたり、疑似体験をすることによって自分たちの想像以上の苦労があることに気付いたりする。さらに、身近にある問題を自分の問題としてとらえ、福祉について考えることができるようにする。

車いす体験、聴覚・視覚障がい体験【7月】

- ・社会福祉法人さくらの園から社会福祉士の方に来ていただきました。
- ・実際に車いすに乗ったり押したりしてみて、普段自分たちが何気なく歩いているところでも移動に困難を伴うことを実感していました。
- ・聴覚障がいの体験では手話にチャレンジしました。最初は戸惑っていましたが、一つ一つの言葉を真剣に覚えようとする姿勢がとても立派でした。
- ・視覚障がい体験では、ロービジョン体験を行いました。「何とかかなりそうだけど・・・」と体験した児童も想像以上の見えなさに驚嘆していました。「こんなに見えないと思わなかった、困っていたら絶対手助けしてあげたい」と思えたようです。

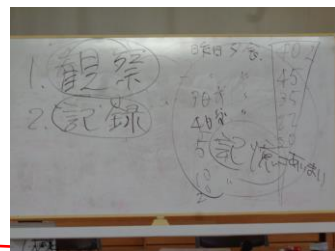
※3月中旬には盲導犬との触れ合いを行います。

普段から盲導犬を連れていてる方にお話を聞き、視覚障がいへのさらなる理解を深めます。

獣医師による講座【10月】

ゲストティーチャーとして地域の獣医師さんを招き、主に本校で飼育しているうさぎの話を中心に動物への理解と、獣医師の仕事内容について学びました。

普段から動物を飼っている子はもちろん、来年から接することになる児童も真剣に聞き入っていました。



まとめ

今まで何となくしか知らなかった福祉について学んだことで少しずつ身近に感じてこられたようです。自分たちのくらしが維持され、障がいの有無に関わらず幸せに暮らせているのは多くの人の努力の賜物であることに気が付きました。